令和6年度
事業報告書

目 次

- 02 事業総括（共通事項）
- 19 障害者支援施設オイコニア
- 36 グループホーム笑和
- 39 相談支援事業所わらわ
- 42 デイサービスセンター緑林荘
- 45 居宅介護支援事業所りょくりん
- 46 デイサービスセンターさくら貝
- 50 配食サービス事業
- 51 地域における公益的な取り組み

令和6年度 事業総括

明成会中長期計画「2024年～5年間」及び事業計画に基づき、各事業所の取組みと合わせて法人共通の委員会活動や研修会、地域活動など積極的に行い、法人内の人事交流と情報共有を図り、働きやすい職場を目指し取り組んできました。

今年度の重点項目とした『生産性の向上に向けたDX化』については、オイコニア建替プロジェクト会の中で先進的な施設の取組みについて検討する上でICT機器や介護ロボット等についても協議を行ってきました。オイコニアではナースコールが一時的に故障したこともあり、職員間の連絡調整用インカムとナースコール、見守りシステム、介護記録ソフトの連携によりスマートフォンで対応できるよう関係業者と打合せを行い、業務の効率化に向けて取り組みました。また、電話設備機器の更新時期も近いことから、次年度以降の一体的な導入に向け検討を進めてきました。

『職員研修の充実』については、令和5年10月より外部講師（エイデル研究所）による人事評価制度と給与制度の見直しについて2ヶ月毎に人材マネジメント制度検討委員会を行ってきました。2月に原案が完成し、3月には全職員に対し説明会を実施し、これまでの人事評価制度、等級制度、給与制度の一部改正を行いました。全体的に各制度のスリム化を図ることで職員に分かりやすく、運用面では業務管理評価シート（自己評価表）を導入しフィードバック面接等に活用していくことになりました。今回の見直しでは、一次評価者を中心に制度設計を行ったことで現状に即したより運用しやすい人事評価制度に見直すことができ、これからの次世代の育成（中間管理職の育成）につながりました。また『処遇全般の向上』として、昇給方法や処遇改善手当の変更など給与制度の見直し以外にも公休数を3日追加し年間116日に変更しました。年次有給休暇取得率80%を目指し取り組みましたが、3月末の取得率は74%でした。

今年度は介護・障害福祉報酬改定が行われ、全体でプラス改定と言われる中、オイコニアでは障害福祉サービス収入前年比3.2%、970万円の増収となりました。一方、緑林荘の介護保険事業収入前年比マイナス10.9%、727万円の減収、さくら貝では前年比マイナス22.2%、543万円の減収となりました。配食事業でも同様に前年比マイナス3.6%、129万円の減収となりました。特にデイサービスセンターの減収の原因は、ご利用者数の減少と要介護度の軽度化によるものですが、要介護の高齢者が在宅で生活を支える家族の介護力の低下などニーズの変化が見られるため、高齢者サービス事業では厳しい収支状況が続くものと想定できます。

今後の方向性としては、町内の居宅介護支援事業所の閉所もあり、居宅介護支援事業所りょくりの職員の増員を図り、デイサービス・配食事業のご利用者拡大に努めつつデイサービスセンターの指定管理委託については四万十町とも協議を行っていくこととなりました。

近年の物価高騰により、主に電気代(11%)、給食業務委託費(9%)が大幅に上昇する中、修繕費や消耗品費等の単価も上昇し様々な影響を受けてきました。そのため、物品の購入の際にはコスト面を意識した物品の購入や発注業者の見直しを行い経費削減に取り組んできました。オイコニアにおいては、今年度も建替えに向けた計画的な資金確保として2,500万円の積立を行うことができました。

社会福祉充実残額については、1億7,152万円算出され昨年度より2,507万円の増額となり、

社会福祉充実計画における10年後の建替え資金である事業費を見直しすることにしました。

喫緊の課題である人材確保について、正職員の生活支援員1名、パート職員（障害者雇用）1名確保できましたが、3月末には急遽正職員2名の退職と合わせ、正職員3名が退職することとなりました。デイサービスセンターの事業所では定員縮小により生活支援員は事業所間で兼務する体制を続けていくものの相談支援専門員と管理栄養士は人員不足となりました。障害者雇用については、法定雇用率を満たすことができました。

地域における公益的な取組としては、認知症の人とその家族が安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とした、『しまんとオレンジカフェほほえむ』を昨年より毎月1回、開設してきました。徐々に利用する方も増え、地域に定着しつつあり、多職種が関わることで地域ニーズの把握、地域との関係性の構築につながり明成会の事業内容が地域に浸透してきています。また、地域サポート隊活動として、六反地駅・施設周辺の草刈り、近隣の宅老所と連携した出前講座を積極的に行いました。

以上を令和6年度の事業総括とします。

1 組織体制

① 役員

理事 8名（6名以上8名以内）

任期 令和5年6月19日から令和7年定時評議員会の終結時

監事 2名（定数2名）

任期 令和5年6月19日から令和7年定時評議員会の終結時

② 評議員 9名（7名以上11名以内）

任期 令和3年6月17日から令和7年定時評議員会の終結時

③ 職員（在籍人数）

事業所別 雇用形態	性別	オイコニア		笑和 わらわ	緑林荘 りよくりん	さくら貝	配食	合計	
			生活支援員						
正職員	男	16	11		2			17	
	女	14	8	2	5	1		22	
契約職員	男	4	3				4	7	
	女	4	4	3	3	1		12	
嘱託職員	男						1	1	
	女	1	1		1	1		3	
合計		39	27	5	11	3	5	63	
		男	20	14		2		5	27
		女	19	13	5	9	3		36

※令和7年3月末現在

2 組織運営

《 理 事 会 》

第1回 理事会 令和6年6月5日(水) 午後2時00分～午後4時10分

＜理事：7名出席（山本康雄理事欠席）、監事：2名出席、議長：大崎和正理事＞

(1) 報告事項

①理事長・常務理事の職務執行の状況報告

事業経過及び予算執行状況、重要な契約内容など

(2) 承認及び議決事項

第1号議案 令和5年度事業報告書の承認について

【提案理由】定款第33条第1項の規定にもとづく報告並びに審議

＜令和5年度 明成会事業報告の提示＞

1. 事業総括
2. 障害者支援施設オイコニア
3. グループホーム笑和
4. 相談支援事業所わらわ
5. デイサービスセンター緑林荘
6. デイサービスセンターさくら貝
7. 居宅介護支援事業所りよくりん
8. 配食サービス事業
9. 収益事業（宿舍運営事業）

第2号議案 令和5年度決算関係書類の承認について

【提案理由】定款第33条第1項の規定にもとづく報告並びに審議

＜令和5年度 財務諸表の提示＞

1. 財産目録
2. 貸借対照表
3. 資金収支計算書
4. 事業活動収支計算書

第3号議案 承認社会福祉充実計画の変更について

【提案理由】

経理規程第75条及び第76条の規定により、社会福祉充実残額について20%を超える増額となり令和5年度承認の社会福祉充実計画の変更を行うため、評議員会の承認に向けた審議

第4号議案 定時評議員会の日程等について

【提案理由】

定款第12条第1項の規定により、定時評議員会の日程等について審議

第5号議案 定款の一部変更について

【提案理由】

定款第40条の第1項の規定により収益事業廃止（職員用宿舎売却）にともなう定款の変更について審議

第6号議案 諸規程の改正にともなう審議

○「給与規程」「契約職員就業規則」「嘱託職員就業規則」

【提案理由】

福祉・介護職員等処遇改善加算及び介護職員等処遇改善加算の変更にともなう処遇改善手当等の一部改正

その他 顧問について <定款第23条>

第2回 理事会 令和6年9月17日（火）午前9時55分～午前10時45分

<理事：8名出席、監事：1名出席（福井毅監事欠席）、議長：伊井野太志理事>

(1) 報告事項

①理事長・常務理事の職務執行の状況報告

事業経過、重要な契約内容など

②予算執行状況

※理事会終了後、研修会（Webセミナー受講）

第3回 理事会 令和6年12月16日（月）午後2時00分～午後3時50分

<理事：8名出席、監事：2名出席、議長：山本康雄理事>

(1) 報告事項

①理事長・常務理事の職務執行の状況報告

重要な契約内容、事業経過など

②予算執行状況

③上半期の事業報告

(2) 承認及び議決事項

第1号議案 令和6年度第1次補正収支予算書の承認について

【提案理由】 定款第32条第1項の規定による審議

[オイコニア拠点区分]

[緑林荘拠点区分]

[さくら貝拠点区分]

[笑和拠点区分]

[居宅介護支援事業拠点区分]

第2号議案 第2回評議員会の日程等について

【提案理由】

定款第12条第1項の規定により、第2回評議員会の日程等について審議

<理事：8名出席、監事：2名出席、議長：瀧澤勝英理事>

(1) 報告事項

- ①理事長・常務理事の職務執行の状況報告
重要な契約内容、事業経過など
- ②予算執行状況
- ③来年度の組織体制
- ④前回理事会での指摘内容の回答

(2) 承認及び議決事項

第1号議案 令和6年度第2次補正収支予算書の承認について

【提案理由】 定款第32条第1項の規定による審議

[オイコニア拠点区分]

[緑林荘拠点区分]

[さくら貝拠点区分]

[笑和拠点区分]

[配食事業拠点区分]

[居宅介護支援事業拠点区分]

第2号議案 令和7年度事業計画書の承認について

【提案理由】

定款第32条第1項の規定における令和7年度事業計画書の審議

第3号議案 令和7年度収支予算書の承認について

【提案理由】

定款第32条第1項の規定における令和7年度収支予算書の審議

第4号議案 諸規程の改正等にもなう審議

- 「障害者支援施設オイコニア 運営規程」

【提案理由】

障害者総合支援法の改正により、地域連携推進会議の設置、地域生活へ向けた利用者支援及び地域移行等移行確認担当者による意向確認に関する一部改正

- 「デイサービスセンターさくら貝 運営規程」（通所介護、総合事業通所介護）

【提案理由】

営業曜日の変更（週6⇒週5）に関する一部改正

- 「グループホーム笑和 運営規程」

【提案理由】

事業継続計画及び地域連携推進会議に関する規定を追加

- 「地域連携推進会議規程」

【提案理由】

地域連携推進会議の規程を新たに施行する

○「委員の報酬並びに費用弁償等に関する規程」

【提案理由】

地域連携推進委員を委員報酬に追加

○「給与規程」「契約職員就業規則」「嘱託職員就業規則」

【提案理由】

人材マネジメント制度の見直しによる給与規程の一部改正

○「複線型役割等級規程」「人事評価規程」

【提案理由】

人材マネジメント制度の見直しによる複線型役割等級規程及び人事評価規程の一部改正

○「育児・介護休業等に関する規則」

【提案理由】

育児・介護休業法の改正にともない『子の看護等休暇』及び『介護休暇』の対象者等の変更

監事監査 令和6年5月24日（金）午前9時30分～午後0時00分

<監事：2名出席、顧問税理士：1名出席、職員5名>

《 評 議 員 会 》

定時評議員会 令和6年6月19日（水）午後2時00分～午後3時45分

評議員：8名出席（戸田晶秀評議員欠席）、監事：2名出席、理事：4名出席

議長：三宮佳子評議員

議事録署名人：戸田悦子評議員 井上義之評議員

（1）報告事項

- 1 令和5年度 第4次補正収支予算書（定款第32条第2項の規定による）
- 2 令和5年度 事業報告（定款第33条第2項の規定による）
- 3 令和6年度 事業計画書（定款第32条第2項の規定による）
- 4 令和6年度 収支予算書（定款第32条第2項の規定による）
- 5 明成会中長期計画＜2024年度～2028年度＞

（2）承認及び議決事項

第1号議案 令和5年度 決算関係書類の承認について

【提案理由】

定款第33条第2項の規定にもとづく審議

＜令和5年度 決算関係書類＞

1. 資金収支計算書
2. 事業活動計算書
3. 貸借対照表
4. 財産目録

第2号議案 承認社会福祉充実計画の変更に係る承認について

【提案理由】

定款第10条第1項第8号の規定にもとづく審議

第3号議案 収益事業廃止（職員用宿舍売却）にともなう定款の一部変更について

【提案理由】

令和5年8月末、職員用宿舍の根元原ハイツを(有)西宮物産へ売却。定款第10条第1項第5号の規定による定款の変更にともなう審議

第2回評議員会 《令和6年12月24日（火）午後2時00分～午後3時00分》

評議員：7名出席（佐々木香代評議員、中嶋敏親評議員欠席）、監事：1名出席、理事：4名出席

議長：井上義之評議員

議事録署名人：長谷部恵美評議員 戸田晶秀評議員

報告事項

- 1 令和6年度 上半期事業報告（定款第33条第2項の規定による）
- 2 令和6年度 第1次補正収支予算書（定款第32条第2項の規定による）
- 3 令和6年度 予算執行状況（定款第33条第2項の規定による）

3 法人共通委員会

1) 運営会

各事業所から役職員が集まり事業運営の情報交換や様々な課題について検討し、今後の経営方針について周知、事業予算と実績数値などについて意見交換を行った。

開催日	参加人数	場所
4月10日(水)	11名	避難スペース オイコニア
5月9日(木)	11名	避難スペース オイコニア
6月7日(金)	11名	避難スペース オイコニア
7月10日(水)	11名	避難スペース オイコニア
8月8日(木)	11名	避難スペース オイコニア
9月11日(水)	11名	避難スペース オイコニア
10月10日(木)	11名	避難スペース オイコニア
11月7日(木)	11名	避難スペース オイコニア
12月11日(水)	11名	避難スペース オイコニア
1月10日(金)	11名	避難スペース オイコニア
2月10日(月)	11名	避難スペース オイコニア
3月7日(金)	11名	避難スペース オイコニア

2) オイコニア建替プロジェクト会

10年以内の施設建替えに向け、先進的な県内外の福祉施設への見学や将来的な施設の概要を検討するため、長期的な視点で取組みを行った。

開催日	参加人数	場所
5月17日(金)	11名	避難スペース オイコニア
8月8日(木)	11名	避難スペース オイコニア
10月10日(木)	11名	避難スペース オイコニア
11月7日(木)	11名	避難スペース オイコニア
12月11日(水)	11名	避難スペース オイコニア
2月10日(月)	10名	避難スペース オイコニア

3) 人材マネジメント制度検討委員会

令和7年4月の人材マネジメント制度改正に向け、前年度から引き続き外部講師による定期的な検討委員会を行うとともに、リーダー層の研修としてマネジメント力の向上に取り組んだ。

開催日	参加人数	種別	場所
4月23日(火)	5名	給与制度	避難スペース オイコニア
4月24日(水)	8名	人事評価制度	避難スペース オイコニア
6月25日(火)	5名	給与制度	避難スペース オイコニア
6月26日(水)	8名	人事評価制度	避難スペース オイコニア

8月27日(火)	5名	給与制度	避難スペース オイコニア
8月28日(水)	8名	人事評価制度	避難スペース オイコニア
10月15日(火)	3名	給与制度	避難スペース オイコニア
10月16日(水)	13名	人事評価制度	避難スペース オイコニア
3月20日(木)	8名	人事評価制度	避難スペース オイコニア

4) 法人広報委員会

法人の様々な事業活動や提供するサービス内容、公益的な取組みなど積極的なPRに努めるため、SNS（インスタグラムやティックトック）の随時更新に努め、パンフレット等の作成に取り組んだ。

開催日	参加人数	場 所
5月6日(月)	4名	オイコニア 相談室
12月9日(月)	4名	オイコニア 会議室

(その他、随時開催)

5) 健康づくり委員会

職員の健康のための運動習慣を普及させるため、運動の正しい知識持つとともに健康づくりに積極的に取組を行った。

開催日	参加人数	場 所
6月7日(金)	5名	避難スペース オイコニア
7月10日(水)	5名	避難スペース オイコニア
11月7日(木)	5名	避難スペース オイコニア
12月11日(水)	5名	避難スペース オイコニア
1月10日(金)	5名	避難スペース オイコニア

6) 権利擁護・身体拘束廃止・虐待防止委員会

身体拘束の事案についての検討や差別・虐待等の防止にむけた支援マニュアルの見直し、実践的な研修や会議の実施、職員の虐待防止への意識を高めるためのチェックリストを実施し、ご利用者の権利侵害の防止と早期発見に努めるための対策を定期的に行った。

開催日	参加人数	場 所
5月9日(木)	11名	避難スペース オイコニア
8月8日(木)	11名	避難スペース オイコニア
11月7日(木)	11名	避難スペース オイコニア
2月10日(月)	11名	避難スペース オイコニア

7) 感染症対策委員会

施設内の具体的な感染症対策の計画を立て、マニュアル等を作成・見直しを行うなど感染症及び食中毒の予防及びまん延防止のための対策を定期的に行った。

開催日	参加人数	場 所
4月10日(水)	11名	避難スペース オイコニア
7月10日(水)	11名	避難スペース オイコニア
10月10日(木)	11名	避難スペース オイコニア
1月10日(金)	11名	避難スペース オイコニア

8) 危機管理・防災対策委員会

南海地震等の自然災害発生時や感染症発生時においても最低限の障害福祉サービスが提供できるよう定期的に事業継続計画（BCP）を見直し、職員の防災・危機管理能力向上のための教育、訓練を実施するため定期的に検討を行った。

開催日	参加人数	場 所
6月7日(金)	11名	避難スペース オイコニア
9月11日(水)	11名	避難スペース オイコニア
12月11日(水)	11名	避難スペース オイコニア
3月7日(金)	11名	避難スペース オイコニア

4 法人共通研修

明成会の職員として、法人、施設の方針にもとづき、使命感をもって各自の役割を的確に遂行できるように組織全体でサービスの質の向上と定着につながる育成的な職場環境を目指し、年間研修計画に沿って研修を行った。

1 集合研修

研修内容	開催日	対象者	内 容
新任職員研修	4月1～5日	新任職員 (2名)	明成会の経営理念、法人概要を理解し、福祉施設職員としての必要な基礎的知識・技術・技能の習得
人事評価者研修	5月1日 11月1日	第1次評価者 (11名)	人事評価制度運用の実務について評価者の定期的な学習
事業所間交流研修	5月14～18日	1名	緑林荘とオイコニア間で交換研修を行うことで法人内の事業所間連携など相乗効果を図った
人権擁護・虐待防止研修 講師「窪川警察署 巡査部長 田村ひろみ氏」	7月11日	全職員 (30名)	虐待の未然防止や早期発見、身体拘束について必要な専門職としての知識の習得
ハラスメント研修 講師「社会保険労務士 高橋卓弥氏」	9月12日	全職員 (34名)	ハラスメントについて正しく理解するとともに、職場におけるハラスメントを未然に防ぐための具体的な方法を学んだ
地域との交流研修 講師「高知大学医学部附属病院 弘末美佐氏」	11月24日	全職員 (24名)	人生会議や終活について、もしもの時に備えることができるよう、地域の方も含め受講
法人研究発表会	2月20日	全職員 (29名)	一年間の取組みの成果を発表することで、職員全体の資質向上とモチベーションの向上を図った

2) 外部研修

経営協、身障協、老施協などその他の団体が企画する研修へ派遣を行った

〔障害者支援施設オイコニア〕

4月12日(金)	中・四国身体障害者施設協議会 第1回研修委員会(岡山/岡村、吉岡)
25日(木)	高知県身体障害者(児)施設協会総会(高知市/岡村、矢野)
5月15日(水)	高知県社会福祉法人経営協議会総会及び研修会(高知市/岡村) 〃 、理事会(高知市/大崎)
	高知県社会福祉法人経営青年会総会及び研修会(高知市/矢野)
16日(木)	中・四国身体障害者施設協議会総会及び施設長研修会(第1回) (高松市/岡村) 17日迄
22日(水)	全国身体障害者施設協議会第1回協議員総会(東京/岡村)
6月13日(木)	相談支援従事者現任研修(高知市他/豊田) 合計4日間
7月 8日(月)	第1回社会福祉法人経営青年会セミナー(高知市/矢野)
17日(水)	安全運転管理者講習(四万十町/岡村)
22日(月)	福祉避難所の設置・運営に関する実務研修(前期)(高知市/豊田)
23日(火)	高知県内社会福祉法人ブロック別意見交換会(四万十市/岡村)
29日(月)	能登半島地震介護職員等派遣(石川県第二金沢朱鷺の苑/武政) 5日間
8月 9日(金)	高知県障害者虐待防止権利擁護研修(高知市/大崎)
29日(木)	中・四国身体障害者施設協議会 支援職員研修会(当番施設)
30日(金)	〃 <職員9名>
9月13日(金)	福祉サービス苦情解決セミナー(高知市/大崎・豊田)
19日(木)	中堅職員研修(高知市/竹本) 2日間
25日(水)	全国身体障害者施設協議会研究大会(仙台市/岡村、中野、岡本) 4日間
30日(月)	防災士養成研修(高知市/大崎、中平) 3日間
10月 4日(金)	介護職員等喀痰吸引等研修(基礎研修)(高知市/佐竹) 9日間
16日(水)	初任者研修会(高知市/下元、木村) 2日間
28日(月)	メンタルヘルス基礎研修(高知市/山脇)
11月18日(月)	全国身体障害者施設協議会職員スキルアップ研修会(霞が関/豊田) 2日間
20日(水)	全国老人福祉施設大会・研究会議(滋賀県/吉岡、土居) 3日間
21日(木)	第48回中・四国身体障害者施設職員研修大会 (山口市/岡村、武政、矢野勝) 2日間
27日(水)	高知県身体障害者(児)施設協会施設長セミナー(高知市/岡村、矢野)
29日(金)	障害者支援施設ステージ桜ヶ丘見学(安芸市/岡村、中山、黒岩、中野)
12月11日(水)	メンタルヘルス応用研修(高知市/山脇)

- 20日(金) 接遇に関する研修会(四万十町/真殿・木村・國見)
- 21日(土) 災害時の応急手当に関する研修(四万十町/市川幸)
- 1月17日(金) アサーティブコミュニケーション研修(高知市/西村・矢野勝)
- 24日(金) 高知県身体障害者(児)施設協議会(作業部会)職員研修会
(高知市/岡村) 25日迄
- 30日(木) 高知県社会福祉法人経営青年会セミナー(高知市/矢野)
- 2月 7日(金) 仕事の任せ方研修(オンライン/市川幸)
- 13日(木) 社会福祉施設総合保険制度説明会(高知市/大崎・豊田)
第2回中・四国身体障害者施設協議会総会及び施設長研修会
(島根県/岡村) 14日迄
- 17日(月) 高知県経営協セミナー(後期)(高知市/岡村)
- 18日(火) ICT利活用研修(オンライン/豊田)
- 3月 5日(水) 全国身体障害者施設協議会 第37回経営セミナー(東京都/岡村) 6日迄
- 10日(月) 社会福祉法人・公益的な取組推進フォーラム(高知市/岡村・大崎・矢野)
- 12日(水) 全国社会福祉法人経営者協議会 障害福祉事業経営セミナー
(オンライン/岡村・大崎・吉岡・西村・矢野)

〔グループホーム笑和・相談支援事業所わらわ〕

- 6月13日(木) 相談支援従事者現任研修(高知市他/中平) 合計4日間
- 2月 7日(金) 高知県相談支援従事者専門コース研修(中平)

〔デイサービスセンター緑林荘・居宅介護支援事業所りょくりん〕

- 7月17日(水) 安全運転管理者講習(四万十町/西村)
- 10月24日(木) 第27回四万十町精神保健ネットワーク会(四万十町/岩崎、北川)
- 11月18日(月) 高幡5市町在宅医療・介護連携合同研修会(四万十町/岩崎、北川)
- 20日(水) 全国老人福祉施設大会・研究会議(滋賀県/西村、岩崎) 3日間
- 1月17日(金) 四万十町権利擁護研修会(四万十町/西村・泥谷・岩崎・北川)
- 2月 5日(水) 働き方改革関連法に関する説明会(須崎市/西村)
- 7日(金) 感染症予防研修(四万十町/西村・泥谷・西村美・岩崎・北川)
- 13日(木) 社会福祉施設総合保険制度説明会(高知市/西村)

3) 自己啓発の支援

職員が自発活動として自らの専門知識の習得・能力開発を目的に休暇を利用し、外部研修会に参加する場合、研修参加費等を援助することにより、職員の経済的負担を軽減する。

実績：5名（研修費66,550円支給）

5 施設・設備整備等の事業

令和6年4月からの施設・設備整備事業は、次のとおりです。

<注：10万円以上の「固定資産」「修繕」等を掲載>

〔オイコニア〕

〔備品〕

・事務所内パソコン入替（2台）	528,000円	<四国電話工業(株)>
・アップル iPad（2台）入替	250,641円	<陽和産業(株)>
・冷凍庫	379,280円	<ホシザキ四国(株)>
・眠りスキャン管理用パソコン	135,300円	<四国電話工業(株)>
・車載用ストレッチャー	383,680円	<アルフレッサ篠原化学(株)>
・職員用車輜（中古車）	392,720円	<トヨタカローラ高知(株)>

〔ソフトウェア〕

・人事管理システム	599,500円	<陽和産業(株)>
-----------	----------	-----------

〔修繕他〕

・防虫管理契約	198,000円	<(株)大進>
・ボイラ保守点検委託契約	104,500円	<(株)巴商会>
・厨房コンロ部品交換	150,480円	<(株)フジマック>
・防火設備定期報告書作成	264,000円	<小松建設(株)>
・給水タンク清掃作業	132,000円	<三栄工業(株)>
・休憩室・厨房衛生設備修繕	400,000円	<小松建設(株)>
・デイルーム照明器具取替	345,600円	<井上住電設備>
・非常用発電設備点検交換整備	132,000円	<四国機器(株)>
・職員浴室改修工事	530,000円	<小松建設(株)>
・トイレフラッシュ便交換	283,800円	<三栄工業(株)>
・浄化槽放流ポンプ取替	220,000円	<日本化工(株)>
・浄化槽汲取り清掃作業	178,200円	<(有)田辺台地衛生>

〔笑和〕

〔備品〕

・ドラム型洗濯機	181,830円	<(有)オフィスウエハラ>
----------	----------	---------------

〔修繕他〕

・浄化槽内部ポンプ	267,740円	<(有)武田商事>
-----------	----------	-----------

〔緑林荘〕

〔備品〕

・デスクトップパソコン入替（4台）	882,640円	<陽和産業(株)>
・NAS（ネットワーク接続型ストレージ）	184,470円	<陽和産業(株)>

〔ソフトウェア〕

・NDソフトウェアクラウド化（ライセンス5年間）	1,936,000円	<陽和産業(株)>
--------------------------	------------	-----------

〔修繕他〕

・ボイラ保守点検委託契約	123,200円	<(株)巴商会>
・アコーディオンカーテン取替	119,658円	<(有)オフィスウエハラ>

〔 さ く ら 貝 〕

〔備品〕

- ・デスクトップパソコン入替 242,000 円 <陽和産業(株)>
- ・ND ソフトウェアクラウド化 (ライセンス5年間) 1,163,800 円 <陽和産業(株)>

[障害者総合支援法による障害福祉サービス事業]

《 障害者支援施設オイコニア 》

生活支援の状況

ご利用者一人ひとりの意思及び人格を尊重しながら、その人らしい自立した生活を送ってもらうために、良質かつ安心、安全なサービスの提供に努めた。また、ご利用者一人ひとりの能力や嗜好に合った生活空間が持てるよう配慮した。個別支援計画については、ご利用者の強みや障害特性、解決すべきニーズを把握し、本人の望む自立した生活が実現できるよう計画作成に努めた。

日中活動事業である生活介護サービスでは各ライフサポート委員会で「無駄をなくす」を今年度の取り組みテーマとし施設内の環境の点検、日常業務における効率的で安全な動線や身体動作の構築、統一した支援の提供に向けた研修等を行いサービスの向上とコスト削減に取り組んだ。

居住支援事業の施設入所支援サービスについては、ご利用者のプライバシー尊重に努めながら快適で自立した生活ができるよう支援を行った。

また、インカム・眠りスキャン・タブレット等のICT機器の活用は定着しているが、日常業務改善委員を中心にさらなる書類業務の負担削減、データ収集等の機能の活用等職員の情報共有や業務の効率化につなげていきたい。

入所の利用状況については、3月末で50名満床であるが、医療的ケアが必要な方や精神的な治療への薬の調整等による長期入院が数名いる状態である。ご家族、各医療機関と相談しながら施設入所を継続していけるのかどうかを見極めていく必要がある。

通所、短期入所については、感染症による利用控えがあったものの概ね予定通りの利用率であった。ただ通所、短期においても定員数には達していないため各関係機関と情報共有を行いながら新規開拓を実施していく。

今年度も感染症対策を継続して実施してきたが7月中旬から8月中旬にかけて新型コロナ感染症のクラスターが発生している。重症者はいなかったがご利用者14名、職員4名の感染者であった。また、12月中旬よりインフルエンザ感染症のクラスターが発生しご利用者22名、職員5名の感染者をだすこととなった。障害の特性上、行動制限やマスク着用が困難なご利用者も多く初期段階での封じ込めが上手くできなかった。感染症クラスターが発生すると長期に渡りご利用者へ行動制限や我慢の生活が強いられること、職員には業務負担増による心身の疲弊が見られることから今後も感染リスクが高い季節や県・町内の感染症の流行時には感染症対策や啓発活動を実施し安全な暮らしができるよう取り組んでいく。

1. 日常生活支援

各委員会が研究テーマを設け、中・長期目標達成に向けて定期的に見直しを行いながら、ご利用者の生活の質の向上に努めるとともに安全・安心した生活が送れる活動を行った。また、各職種間連携を強化し、ご利用者個々のニーズに沿った日常生活の充実が図れるように努めた。

(※各委員会：日中活動、生活向上、日常業務改善、安全対策)

①相談・支援活動

ご利用者と信頼関係を築けるよう、ご利用者の心身の状況や置かれている環境などの把握に努め、ご利用者やご家族の相談に適切に応じ、必要な助言その他の支援を行ってきた。また、ご利用者や職員、他のご利用者などから情報を収集し、問題の原因を検討し、問題解決に努めた。

②個別支援計画の充実

ご利用者のニーズを捉えた個別支援計画を作成するために、アセスメントを行い、ご利用者の生活全体を把握し、生活をしていくうえで解決すべきニーズを明らかにしながら、ご利用者(必要に応じてご家族等)の要望に基づき、3ヶ月に1回の定期的な支援計画の策定・見直しを行うとともに、支援方法にズレが生じないように努めた。

③ライフサポート委員会

ご利用者のより安心・安全で快適な生活が送れるようライフサポート委員会が定期的な会議を開催し、ご利用者個々のニーズに沿った日常生活の充実が図れるように努めた。また、各委員会のリーダーが集まり情報交換を行うことで、委員会同士の連携を図った。

④ 懇談会

ご利用者がより安心し快適な生活を提供できるよう、月1回の利用者自治会懇談会、及び2ヶ月に1回の利用者懇談会を開催し、意見や要望に対し真摯に受け止め対応に努めた。自治会役員からは、他のご利用者からの意見や要望が時々提案された。その内容へも丁寧な対応に努めた。

⑤苦情解決

苦情窓口と処理のための第三者委員の役割を明確化し、ご利用者の苦情に対し誠実に速やかに対応できる体制の確保を行った。今年度は新型コロナウイルス感染症に対して第三者委員の方も考慮し訪問はなかった。ただし、ご利用者から訴えがあれば第三者委員へも報告できるように体制は維持している。

生活介護・施設入所支援（入所）

1. 市町村別入所者数一覧

令和7年3月31日現在（以下※）

	南国市	高知市	四万十市	須崎市	仁淀川町	津野町	佐川町	日高村	越知町	梶原町	中土佐町	四万十町	黒潮町	大月町	合計
男性	1	－	2	1	1	3	1	－	1	1	3	12	2	2	30
女性	－	2	1	－	－	－	1	1	－	1	－	13	1	－	20
計	1	2	3	1	1	3	2	1	1	2	3	25	3	2	50

2. 障害別一覧表

（※）

障害名	男性	女性	合計
脳性麻痺	7	3	10
頰椎・脊髄損傷	6	－	6
痙性麻痺	－	2	2
脳疾患による後遺症	5	5	10
頭部外傷後遺症	2	－	2
水頭症	1	－	1
筋ジストロフィー症	1	－	1
パーキンソン型認知症	1	－	1
脳炎	－	2	2
骨化性筋炎	－	1	1
アルツハイマー型認知症	1	1	2
知的障害	3	3	6
ダウン症	1	1	2
精神障害	1	1	2
指定難病	1	－	1
その他	－	1	1
合計	30	20	50

3. 障害・療育手帳別一覧表

（※）

手帳類	男性	女性	合計
第1種1級	17	12	29
第1種2級	2	2	4
第1種3級	1	－	1

第2種2級	1	—	1
第2種3級	1	—	1
療育A1	3	—	3
療育A2	1	3	4
精神2級	2	2	4
手帳なし	1	2	3
合計	30	19	50

4. 年齢別一覧表

(※)

年齢	男性	女性	合計
18歳～29歳	1	1	2
30歳～39歳	4	1	5
40歳～49歳	5	2	7
50歳～59歳	4	4	8
60歳～69歳	6	6	12
70歳～79歳	9	3	12
80歳以上	1	3	4
合計	30	20	50

5. 平均年齢

(※)

	最少年齢	最高年齢	平均年齢	男女平均年齢
男性	21歳5ヶ月	84歳0ヶ月	59歳2ヶ月	60歳9か月
女性	27歳2ヶ月	94歳9ヶ月	63歳2ヵ月	

6. 障害程度区分

(※)

区分	男性	女性	合計
3	—	—	0
4	4	2	6
5	5	2	7
6	21	16	37
合計	30	20	50

平均障害程度区分 5.62

7. 食費等徴収額

(※)

No.	食費等負担額 (円)	人数	No.	食費等負担額 (円)	人数
1	0	5	16	48,850	1
2	17,690	1	17	48,880	1
3	37,730	1	18	48,970	1
4	39,550	1	19	49,000	1
5	40,130	1	20	49,520	1
6	40,680	1	21	49,550	1
7	40,740	2	22	49,580	4
8	42,960	1	23	49,920	1
9	43,020	1	24	50,370	1
10	43,110	1	25	51,190	1
11	43,990	1	26	52,530	1
12	46,540	1	27	53,170	1
13	46,690	2	28	54,450	1
14	48,730	1	29	55,480	11
15	48,820	3	合計		50

8. 上限月額徴収額

(※)

No.	負担上限月額 (円)	人数
1	0	49
2	37,200	1
合計		50

9. 月別入退所及び月末在籍者数

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
入所	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
退所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
在籍者数	31	19	31	19	31	19	31	19	31	19	31	19	31	19

	11月		12月		1月		2月		3月		小計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
入所	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	2
退所	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
在籍者数	30	19	30	20	30	20	30	20	30	20			

10. 月別利用実績

月別	延べ日数	外泊日数	入院日数	外泊等の合計
4月	1,481日	13日	0日	13日
5月	1,517日	21日	12日	33日
6月	1,436日	7日	57日	64日
7月	1,511日	7日	32日	39日
8月	1,510日	19日	21日	40日
9月	1,454日	9日	37日	46日
10月	1,463日	8日	79日	87日
11月	1,437日	13日	32日	45日
12月	1,504日	10日	30日	45日
1月	1,428日	17日	105日	122日
2月	1,290日	9日	101日	110日
3月	1,458日	9日	83日	92日
合計	17,489日	142日	589日	736日

前年度延べ日数 17,687日

11. 月別利用者区分数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
区分3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0
区分4	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
区分5	9	9	9	9	9	8	8	7	7	7	7	7
区分6	34	34	34	34	34	35	35	36	36	37	37	37
合計	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50

12. 金銭管理状

(※)

	男性	女性	計
全て自己管理	2	2	4
一部自己管理	2	1	3
全て施設管理	5	7	12
家族が管理	16	9	25
成年後見人	5	1	6
計	30	20	50

全て自己管理＝印鑑、通帳、現金等全て自分で管理している。

一部自己管理＝通帳や印鑑、負担金等の支払は施設で行い、小遣程度の現金のみ自分で管理する。

全て施設管理＝通帳や印鑑、負担金等の支払、買い物等も施設が管理し行う。

家族等が管理＝年金は家族が管理を行い、日用品等の支払いは本人または施設が行う

生活介護（通所）

1. 利用実績

月 別	延べ日数	利用実人数	月 別	延べ日数	利用実人数
4月	68日	7人	11月	48日	7人
5月	65日	7人	12月	42日	7人
6月	53日	7人	1月	57日	7人
7月	57日	7人	2月	60日	7人
8月	39日	7人	3月	56日	7人
9月	57日	7人	合 計	668日	84人
10月	66日	7人			

※ 支給決定市町村：四万十町・中土佐町

前年度延べ日数 664日

2. 障害程度区分

(障害者)

(※)

区分	男性	女性	合計
2	1	—	1
3	3	1	4
4	—	—	—
5	1	1	2
6	1	—	1
合 計	6	2	8

平均障害程度区分 4.29

3. 月別利用者区分数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
区分2	9	9	8	9	7	6	10	8	6	7	8	8
区分3	29	28	24	25	21	17	21	15	12	18	18	18
区分4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分5	17	16	12	9	7	22	21	16	15	21	22	18
区分6	13	12	9	14	5	12	14	9	9	11	12	12
合 計	68	65	53	57	39	57	66	48	42	57	60	56

短期入所

1. 利用実績

月 別	利用実人数	延べ日数	月 別	利用実人数	延べ日数
4月	10人	77日	11月	11人	87日
5月	8人	64日	12月	11人	58日
6月	11人	69日	1月	7人	61日
7月	11人	70日	2月	10人	71日
8月	8人	48日	3月	11人	89日
9月	11人	69日	合 計	119人	843日
10月	10人	80日			

※支給決定市町村：高知市・須崎市・佐川町・黒潮町・越知町
津野町・四万十町

前年度延べ日数 753日

2. 障害支援区分

(※)

区分	男性	女性	合計
1	—	—	0
2	1	1	2
3	4	1	5
4	—	1	1
5	4	—	4
6	3	1	4
児童3	1	—	1
合 計	13	4	17

平均障害程度区分 4.12

3. 月別利用者区分数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
区分2	7	0	12	5	6	2	11	3	4	0	0	0
区分3	10	15	21	14	1	22	14	3	9	20	20	19
区分4	3	0	4	4	4	4	3	17	4	4	4	9
区分5	25	14	13	14	9	16	40	29	22	11	24	30
区分6	32	32	19	32	23	25	12	25	19	26	23	31
児童3	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	2	0
合 計	77	64	69	70	48	69	80	87	58	61	71	89

主な行事等実施状況

1. 施設内行事

開催日	行事名	場所	実施回数	実施内容
令和 6年 5月 30日 令和 6年 11月 23日 令和 7年 3月 13日	レストラン	屋内	3回	レストランメニューの中から自由に注文し味わってもらう。
令和 6年 12月 13日	クリスマス・ 年忘れ会	屋内	1回	ご利用者・職員ともに1年の無事を祝い、余興等行い楽しい一時を過ごす。
令和 6年 1月 17日	新年会	屋内	1回	新しい年の抱負を語り合い、余興などを楽しむ。
令和 6年 4月 5日 令和 7年 3月 29日	お花見	屋内	2回	季節を感じてもらおうと共にご利用者・職員との親睦を深める。

※ 7月に予定していたオイコニア交流会は新型コロナウイルス感染症が拡大した為中止となった。

(施設外ショッピング)

ショッピングに行きたいとの要望には、毎週日曜日の買い物の日に提供するとともに、随時要望に応じて対応するよう努めた。ただし、高知県の新型コロナウイルス感染症対策目安の警戒以上になった場合は中止していた。なお、外出時には、アルコール消毒やマスク着用をし、感染予防を徹底した。

(注文買物)

本人からの要望や外出が困難なご利用者に対しては、日曜日に自治会で注文を受け付け、職員が代わって買物を行った。また移動スーパー（とくし丸）も利用し買い物支援を行った。

(園内喫茶)

「お菓子の日」として、月2回オイコニアの職員対応でケーキと飲み物の販売を行った。

(整容)

毎月、外部の美容院と理髪店に依頼し、カットや髪染め・パーマなどの施術を園内で行った。

2. 行事について

実施月	行き先等	人数	実施日	行き先等	人数
4月	ショッピング（高知市）	3人	10月	ピクニック	2人
	ピクニック	3人		足摺水族館	3人
	ドライブ	4人		芋ほり	5人
	ショッピング（高知市）	3人		福祉フェア（高知市）	2人
5月			11月	外食	4人
	いちご狩り	3人		ショッピング（高知市）	3人
	ショッピング（高知市）	2人		ボッチャ大会	—
	外食（町内）	3人		ショッピング（高知市）	3人
	スポーツ大会（高知市）	2人		外食（町内）	2人
	いちご狩り	3人			
6月	ショッピング（高知市）	2人	12月	ショッピング（高知市）	2人
	ショッピング（四万十市）	2人		外食（須崎市）	3人
	外食（町外）	3人		ときめきクリスマス	4人
	ショッピング（高知市）	2人		ショッピング	2人
7月	影野動物園	3人	1月	初詣	7人
	足摺水族館	3人		ショッピング（高知市）	6人
	桂浜水族館	2人			
8月			2月	豆まき	—
	外食（町内）	4人		外食（町内）	3人
				ショッピング（須崎市）	5人
				外食（町内）	2人
9月	ショッピング（高知市）	3人	3月	外食（町内）	3人
	影野動物園	3人		カラオケ大会	—
	動物園	3人		ドライブ	2人
	ショッピング（高知市）	3人			

※ 12月に予定していた餅つきはインフルエンザ感染者が拡大した為中止となった。

<外出について>

(※)

	男性	女性	合計
自己決定で単独外出している	4	3	7
自己決定で付き添って外出している	24	13	37
外出について意思表示が困難	2	4	6
計	30	20	50

※自己決定の困難な（意思表示の困難）ご利用者については職員が適宜、外出の機会を作り出来るだけ施設外に出て余暇を楽しめるように努めている。

3. 防災訓練

実施日	参加者	内 容
4月17日	入所者：37名 通所者：1名 短期：1名 職員：18名 計57名	総雨量が500mmを超えており、第2駐車場が川の増水により冠水している状態を予測して昼間想定にて風水害・土砂災害避難訓練を行った。
6月12日	入所者：1名 通所者：1名 短期：1名 職員：8名 計8名	火災や地震発生における訓練時の課題を職員間で共有するとともに、課題を検討する机上訓練を行った。
10月23日	入所者：47名 通所者：1名 短期：3名 職員：16名 計67名	昼間に震度6強の地震が発生し、厨房より火災が発生したと想定し、通報・消火・避難の訓練を行った。
2月19日	入所者：39名 通所者：1名 短期：2名 職員：12名 計54名	夜間に厨房から火災が発生したと想定し、通報・消火・避難の訓練を行った。
3月12日	入所者：41名 通所者：2名 短期：3名 職員：13名 計59名	昼間に震度6強の地震が発生したと想定し、避難・誘導の訓練を行った。
3月31日	入所者：1名 通所者：1名 短期：1名 職員：6名 計6名	夜間に震度6強の地震が発生し、厨房より火災が発生したと想定し、通報・消火・避難の方法の検討を机上訓練にて行った。

食生活支援の状況

3食カフェテリア方式での選択食の提供を実施した。すべての食材の高騰が継続する中、予算内でご利用者に喜んでいただける献立を作成するのに苦慮したものの、選択食の取り合わせやメイン料理の添えを簡素化する等目に見えてわからないように盛り付けを工夫し、ご利用者には概ね満足する食事の提供をすることができた。

給食食材管理においては昨年同様、年間通して細密な食材管理が求められコストを抑えた献立の工夫が必要となった。調味料等においては安価なものに変更する等、予算内に収まるよう努力した。来年度以降も多くの食品で順次価格見直しの予定があるため、今年度同様、食材の選定、献立の見直しが必要となる。

1. 食生活の状況

食事摂取基準に基づいた献立の作成を実施した。加齢や障害の重度化による個々の特性に合わせた食事形態の提供（ミキサー食、ソフト食、きざみ食など）や医師指示のもと治療食も実施しており、多職種と連携した支援を行うことで重症化を防ぐよう努めた。

2. 栄養ケアマネジメント

ご利用者個々の栄養健康状態やニーズに合わせた栄養ケア計画の作成、見直しを行った。ご利用者、職員ともに支援計画と合わせてモニタリングすることで個々の健康状態や課題を総合的にみることもできた。

3. ニーズの反映

月1回の利用者食生活検討会や嗜好アンケート調査（年1回）、残渣調査（計量）の結果、また日常的にご利用者とコミュニケーションを多くとるよう心がけ、ご利用者の嗜好の把握に努めた。また、意見・要望には出来るだけ早く応えるよう努力した。

4. 委託業者との連携

朝礼や申し送り、依頼文書等によりご利用者への対応方法や実施献立の説明と実施後の反省と改善等細かな連絡、指導を実施し委託業者との連携を図った。また、温度管理や食材搬入表などにより食材のより良い鮮度・品質の確保に努めた。マニュアルに基づいた衛生管理の実施、老朽化する調理設備・器具の点検等を行いご利用者に安全で喜ばれる食事の提供に努めた。

委託業者に対しては引き続き、食品の取り扱いや職員の体調管理、感染予防について徹底するよう依頼している。

5. 行事食

・レストラン（3回実施）

毎回、レストラン担当職員とテーマを決め、テーマに合わせた献立を5種類準備し、好きなものを注文してもらっている。装飾・衣装など趣向を凝らし好評を得た。

【今年度のテーマ】 5月 あじさい街道inオイコニア

1 1月 一か月遅れのオクトーバーフェス（ドイツ料理）

3月 ひなまつりパーティー

・今年度の主な行事食

4月 開設記念祝い御膳 お花見弁当

8月 夏のお楽しみ献立（7月交流会の代替）

1 2月 クリスマス年忘れ会（個人膳・皿鉢・焼肉・クリスマスケーキなど）

1月 おせち料理・新年会（個人膳・にぎり寿司など）

*その他、祭日や四季折々にあわせた行事食を提供し、食生活に変化と潤いを与えるよう努めた。

日常生活活動に対するリハビリの状況

ご利用者一人ひとりの性格や疾患の特性、ご利用者とご家族の要望を把握したうえで、身体機能や精神機能、認知機能、日常生活状況などの評価を行い、評価に基づきニーズを導き出した。

車椅子や装具については、身体機能、生活状況等の評価を行い、生活状況を考慮した上で評価用紙を作成、各個人に合ったものを検討し適合を行った。また、精神障害・発達障害を伴うご利用者の疾患特性に合わせた、アプローチや環境設定を実施した。

1. 残存機能の維持と改善・廃用症候群の予防・生活行為を向上するためのマネジメント

身体機能維持、生活動作の維持・改善を目的に、必要な機能訓練を実施した。身体状況の変化に合わせてリハビリ内容を検討し、必要に応じて変更を行った。生活動作に関しては、ご利用者からの訴えや他職種からの情報、日々の身体状況を元に生活場面へ介入した。実際の生活場面での評価から動作訓練を行うとともに、自助具等の検討や工夫を行った。また、実際場面での伝達を行い他職種との連携を図りながら、ご利用者一人ひとりに合った福祉用具を検討し導入している。

2. 社会生活意欲の向上

集団生活を送る上で他ご利用者とトラブルとなることが多いご利用者に対して、トラブルを予防し集団という社会の中でその人らしく暮らしていくことを目的に、視覚的に指示が分かりやすいような環境設定をしたり、行動のルーティーンを置き換えるための方法を検討する等のアプローチを行った。

3. 意欲的活動性の向上

ご利用者の興味・関心ある活動を実施することで、楽しみや自己有能感を感じてもらうことを目的に、ニーズの聞き取りを行いながら各個人に合わせた活動を提供した。集団作業療法では、難易度や活動内容を工夫しながら、幅広い年齢、疾患に対応できるような活動を実施した。

4. 車椅子・自助具等福祉用具の提案作成

車椅子に関しては、必要な場合には業者に相談し、本人の身体状況や生活状況に合わせたオーダーメイドのものを作成した。日常生活で使用する自助具は、本人や他職種から依頼があった際や必要と判断した際に作成、修繕を行った。新規購入時などには、修繕、再度購入することなども考慮して本人や職員が管理し続けやすいものを提案した。

5. リハビリ実施状況

今年度リハビリの対象として行ったご利用者の数は、入所者49名、通所者7名、短期入所者3名（加算外）である。実施頻度について入所者は週1～3回、自主トレーニング可能な方は週1～4回実施しており、通所の方については利用日に実施している。1日に実施している人数は合計12～34名、平均19.3名である。

健康管理の状況

加齢による身体機能の低下や持病悪化が増える中、ご利用者の日々の健康状態の把握に努め、病状変化の早期発見と治療、また予防へと他職種と連携をしながら取り組みを行ったが、1名のご利用者が退院後は医療施設での生活となり退所となった。今後も、状態によっては施設生活が難しいご利用者も増えてくることが予測される。毎年、病院受診は増加傾向であるが、早期受診することで、重篤化を防ぐことができた。入院状況は、前年度より280日増えている。誤嚥性肺炎を繰り返す他に、精神科にて薬調整のご利用者が多かった。引き続き体調変化の早期発見に努め、施設で健康に過ごしてもらえよう支援を行う。

感染症に対しては、ヤクルトを夕食時に提供してきたが、感染及び腸内環境ともに大きな変化は感じられず、来年度は中止とする。予防接種や、感染状況によって感染対策は引き続き行っていく事とする。

1. 取り組み

実施月	内 容
4月	ご利用者健康診断の実施（胸部レントゲン・検尿・採血）
5月	職員健康診断の実施（胸部レントゲン・検尿・採血）
6～9月	食中毒の予防
10月	ご利用者の健康診断の実施（検尿・採血）
11月	職員健康診断の実施
11月	職員季節型・新型インフルエンザ予防接種（嘱託医により実施）
12月	職員・ご利用者希望者新型コロナワクチン（嘱託医により実施）
11～3月	ご利用者・職員のインフルエンザ・ノロウイルス等感染症の予防
4～3月	コロナウイルス等感染症予防 歯科医による往診にてご利用者の口腔衛生について1回／月の指導 嘱託医師にて1回／週（火）に定期回診

2. 通院状況

通院科目	実人数	延べ回数	通院科目	実人数	延べ回数
歯 科	42人	76回	婦 人 科	2人	3回
内 科	19人	30回	脳 神 経 外 科	2人	5回
泌 尿 器 科	5人	26回	神 経 内 科	3人	12回
整 形 外 科	6人	23回	精 神 科	11人	76回
皮 膚 科	13人	32回	眼 科	1人	1回
リハビリ科	1人	9回	麻 酔 科	1人	26回
耳 鼻 科	4人	6回	胃 瘻 交 換	3人	5回
外 科	1人	3回	合 計	114人	333回

3. 入院状況

入院科目	実人員	延人数	延べ日数
泌 尿 器 科	4人	5人	59日
内 科	8人	12人	221日
外 科	1人	1人	24日
精 神 科	3人	4人	285日
合 計	16人	22人	589日

4. 特別な医療行為者数

(※)

区 分	人 数	
気管切開の処置	1人	
経管栄養	経 鼻	3人
	胃ろう	2人
バルンカテーテル	7人	
合計（重複者あり）	13人	

事業所研修

研修内容	開催日	内 容
経営理念・経営方針 についての研修	5月8日	明成会の経営理念と経営方針の理解と浸透を図るために、 ディスカッションを行った。
介護技術研修	6月19日	排泄介助について、オムツマスターを中心に理解を深め た。
BCP訓練（災害・ 感染）	7月12日	事業継続計画（BCP）に基づき、炊き出し等の実践的訓練を 行った。
リフレッシュ	9月18日	レクレーション等を通じて職員間の交流を深めるととも に、職員個々の気分転換を図った。
感染症 BCP訓練（感染）	10月9日	ノロウイルスやインフルエンザなどの感染症などの対応、 集団感染防止にむけた意識づけを行った。また、BCP訓 練についてはゾーニングの意識づけ、防護服の着脱の実践 を行った。
虐待防止・身体拘束	11月27日	障害者の人権や虐待について理解を深め、虐待や身体拘束 の予防につなげるとともに、ご利用者個々の自立への取り 組みについてディスカッションを行った。
夜間緊急対応	1月15日	夜間の緊急対応の実践を行い、マニュアルの徹底と見直し を行った。
福祉避難所運営訓練	3月17日	障害者の人権や虐待について理解を深め、虐待や身体拘束 の予防につなげるとともに、ご利用者個々の自立への取り 組みについて考える。

《グループホーム笑和》（共同生活援助）

地域で自立した日常生活及び社会生活を営むことができるように、相談支援事業所や就労支援事業所等の各関係機関と連携を図り、ご利用者の希望に沿ったサービス提供に努めた。また、ご利用者のニーズに応じた支援ができるよう6ヶ月に1回の定期的な支援計画の策定・見直しを行い、支援方法にズレが生じないように心がけた。

令和6年度は昨年度末より頭重感や焦燥感、感情失禁等の精神面からくる不調を訴えていた男性ご利用者が服薬を調整するため、8月中旬から4か月間の長期入院や、ヘルニアの手術のために短期間ではあるが入院もあったことで厳しい経営状況となることも予想されたが、障害福祉サービスの報酬改定がプラス改定であったことや、外泊日数が減少したことで大きく収入が減少することはなかった。しかしながら精神面での不調を訴え入院をしていたご利用者は、現在も精神的な不調の訴えは継続した状態であるため、各関係機関と連携をしながらの対応が必要な状況ではある。

開設8年目となり浄化槽内部のポンプが故障するなど設備や備品に不具合が生じており、少しでも耐用年数が延長するよう取り扱い方法を徹底するなどの対策が必要な状況となっている。

1 事業内容

- (1) 日常生活の支援
- (2) 社会生活の支援
- (3) 医療的支援
- (4) 日中活動支援
- (5) 社会生活の支援
- (6) 個別支援計画の作成

2 行事内容等

	行事名
4月	誕生日会、クッキング（チャーハン）、創作活動（こいのぼり）
5月	クッキング（焼き肉）、創作活動（あじさい）
6月	クッキング（オムハヤシライス）、創作活動（七夕）
7月	ショッピング（パワーセンター高知）、クッキング（たこ焼き）、創作活動（花火）
8月	クッキング（焼きうどん）、創作活動（運動会）
9月	外食（峰ノ上）、クッキング（焼きそば）、創作活動（秋まつり）
10月	クッキング（タマゴロールパン）、誕生日会、創作活動（七五三）
11月	ショッピング（イオン高知）、クッキング（クリームシチュー）、誕生日会、創作活動（クリスマス）
12月	クッキング（煮込みハンバーグ）、クリスマス会、創作活動（お正月）
1月	初詣、クッキング（牛丼）、創作活動（節分）
2月	クッキング（焼うどん）、誕生日会、創作活動（ひな祭り）
3月	クッキング（きつねうどん）、誕生日会、創作活動（入学式）

3 防災訓練

実施日	内 容
4月26日	昼間にトラッキングにより居室より出火したと想定し、避難誘導を行う
5月31日	昼間の地震を想定し、避難誘導を行う
6月27日	夜間にタバコの不始末によりテラスより出火したと想定し、避難誘導を行う
7月25日	雨が降り続いたことで夜間に土砂災害警戒警報が発令をされたと想定をし、避難指定場所までの避難誘導を行う
9月28日	激しい雨が降り続き昼間に土砂災害警戒警報が発令をされたと想定し、避難指定場所までの避難誘導を行う
10月24日	昼間にトラッキングにより居室より出火したと想定し、避難誘導を行う
11月22日	昼間の地震を想定し、避難誘導を行う
12月27日	夜間の地震を想定し、避難誘導を行う
1月30日	夜間に漏電により洗濯場からの出火を想定し、避難誘導を行う
2月25日	朝より激しい雨が降り続いたことで土砂災害警戒警報が発令をされたと想定し、避難指定場所までの避難誘導を行う
3月31日	夜間の地震を想定し、避難誘導を行う

4 市町村別入所者数（令和7年3月31日現在）

	男性	女性	合計
四 万 十 町	3	4	7
中 土 佐 町	1	1	2
合 計	4	5	9

5 年齢別入所者数（令和7年3月31日現在）

	男性	女性	合計
20歳～29歳	-	2	2
30歳～39歳	-	1	1
40歳～49歳	-	-	-
50歳～59歳	2	-	2
60歳～64歳	-	-	-
65歳以上	2	2	4
合 計	4	5	9

	男性	女性
最 小 年 齡	5 4 歳 5 ヶ月	2 3 歳 5 ヶ月
最 高 年 齡	6 7 歳 1 ヶ月	6 6 歳 4 ヶ月
平 均	6 1 歳 8 ヶ月	4 2 歳 6 ヶ月
男 女 平 均	5 1 歳 0 ヶ月	

6 障害支援区分別利用実績集計表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
非該当	60	62	60	62	51	30	31	30	34	50	56	62	588
区分1	30	31	30	29	31	30	31	30	31	31	28	31	363
区分2	88	90	89	91	82	88	91	88	88	89	82	92	1,058
区分3	56	58	56	60	53	56	60	56	55	51	53	61	675
区分4	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
区分5~6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
延人数	264	272	265	273	248	234	244	234	239	252	247	277	3,049

7 入院状況

入院科目	実人員	延人数	延べ日数
精 神 科	1	1	1 3 8
	1	1	4
合 計	2	2	1 4 2

8 外泊状況

	実人員	延人数	延べ日数
4月	2	4	6
5月	2	3	7
6月	3	5	8
7月	2	3	4
8月	4	6	2 0
9月	2	3	6
1 0 月	2	2	4
1 1 月	2	4	6
1 2 月	3	5	1 2
1 月	4	6	1 9
2月	2	3	5
3月	2	2	2
合 計	3 0	4 6	9 6

《相談支援事業所 わらわ》

今年度も各支給決定機関や各事業所と連携しながら、主に町内で在宅生活をされている方の計画相談支援や地域生活支援事業における相談支援などに取り組んだ。

令和7年3月末現在、計画相談で受けている方は108名（児童4名を含む）で、四万十町から委託されている地域生活支援事業は17名である。2名の相談支援専門員が役割分担をし、ご利用者の困りごとや要望等に対して細やかな対応を行った。また、自立支援協議会やケース共有会、高幡相談支援連絡会へも参加し、課題の検討や情報の共有を行った。高幡相談支援連絡会では、高幡地域障害者支援サービス社会資源集が完成し、それぞれの相談支援事業所でデータを持ち、随時活用していくこととなった。

災害時避難行動要支援対策として四万十町からの依頼により、災害時避難行動要支援者登録台帳申請書兼避難行動要支援者個別計画書の作成と更新を行った。

1 事業内容

- ① 指定特定相談支援事業（計画作成）
 - ・ サービス利用支援・障害児支援利用援助
 - ・ 継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助
- ② 指定一般相談支援（地域移行・定着）
 - ・ 地域移行支援
 - ・ 地域定着支援
- ③ 障害児相談支援事業
 - ・ サービス利用支援・障害児支援利用援助
 - ・ 継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助
- ④ 四万十町相談支援事業
 - ・ 福祉サービスの利用の援助
 - ・ 社会生活力を高めるための支援
 - ・ 専門機関の紹介
 - ・ 調整会議等への参加
 - ・ 社会資源を活用するための支援
 - ・ 権利擁護のために必要な援助
 - ・ その他の生活相談に対する助言・指導
- ⑤ 災害時避難行動要支援対策
 - ・ 災害時避難行動要支援者登録台帳申請書兼避難行動要支援者個別計画書の作成
 - ・ 訪問等の機会を利用して、定期的な状況確認及び個別計画の更新
 - ・ ご利用者が参加する避難訓練及び調査等への支援活動に参加
 - ・ 避難情報等災害に関する情報の伝達等の支援
 - ・ 避難時における必要な支援

2 相談受理事件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
指定一般相談	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
指定特定相談	25	21	23	17	23	24	21	22	26	18	28	21	269
障害児相談	2	3	2	2	-	1	4	0	1	3	0	2	20
四万十町相談	5	5	5	5	4	7	6	6	4	7	7	6	67

3 計画相談サービス利用状況

福祉サービス等	件数
施設入所支援	59
生活介護	65
短期入所支援	9
療養介護	1
共同生活援助	8
居宅介護（家事援助）	3
生活支援（地域活動支援センターとの連携）	5
生活支援住宅	1
意思疎通支援事業	1
日常生活支援事業	5
就労支援（就業・生活支援センターとの連携）	2
就労継続支援B型	39
その他（受診時同行支援・訪問看護等）	10
児童発達支援事業	3
放課後等デイサービス	1
合計件数	212

事業所研修【グループホーム笑和・相談支援事業所わらわ】

研修内容	開催日	内 容
身体拘束	5月23日	ご利用者の権利を害することがないように障害者虐待防止法等について学び理解を深める
経営理念	6月27日	明成会の理念等について理解と浸透を図る
リスクマネジメント	7月25日	リスクマネジメントについて知識を身に着け、事故を回避するための支援を養い事故防止につなげる
感染症	11月28日	ノロウイルスや新型コロナウイルスなど感染症への対応について、BCPも含めて集団感染防止にむけた意識づけを図る
虐待防止	12月19日	虐待について理解をし、虐待防止につなげる
プライバシー保護	1月16日	プライバシーの保護について理解を深め、ご利用者の権利擁護につなげる
BCP訓練	3月27日	事業計画に基づき実践訓練（炊き出し）の実施

【介護保険法による指定居宅サービス事業】

《デイサービスセンター緑林荘》（通所介護及び総合事業通所介護施設）

ここ数年の傾向として、介護度の高い方の利用減少と新規契約者の高齢化により、利用期間が短い利用者が増加している。また、施設入所申請から入所に至る期間が短く、1年を通してご利用者の利用状況の変動がみられている。

そして冬場に入るとご利用者が減少傾向になることは予測されているが、今年度は予測以上に亡くなられた方や入院者が一気に増えたことで延べ人数が減少した。入院の原因も転倒による骨折入院の数より心不全や肺炎といった病名での入院のご利用者が多かった。3月には、退院する方も多く延べ人数も増えてきた。

活動の中では、介護度が下がってきている傾向から、転倒予防・下肢筋力維持に努められるように楽しみながら参加できる音楽体操の取り組み、園庭での歩行訓練を行った。ご利用者同士の声かけや会話も活発となり、活動量の増加にもつながっている。

業務改善として、ホール内のテーブル配置の変更を定期的に行い、ご利用者同士のトラブル回避やより多くのご利用者同士が関わりを持てる環境作りを行った。「新しい友達ができた」「楽しい時間が増えた」などの声のご利用者やご家族から寄せられ、評価を頂いている。

今後も、課題への取り組みや意見・要望等への対応に努める。

<総合事業通所介護事業>

支援事業所には毎月サービス実施状況の報告を行いながらサービスの提供に努めている。

運動器機能向上加算は取得していないが、百歳体操を中心に運動を行い、ゴムを使った体操や帰りの時間前には柔軟体操を行い下肢筋力の低下予防に努めた。また、認知症予防にも努め様々な脳トレーニングも引き続き行っている。

全体的には高齢の方が多く現状維持を保つことが精いっぱい状態であるが、引き続き運動機能向上と認知症予防の強化に努める。

1 事業内容

介護保険にかかる通所介護及び四万十町総合事業通所介護事業

2 活動内容

(1) 主な行事

	行事名
4月5日	お花見弁当
9月8日	丸山地区自主防災訓練
9月16日～20日	敬老週間
12月24日	クリスマス会
12月26日	餅つき
12月27日～28日	忘年会
1月6日	新年会
2月3日	節分(豆まき)
2月21日	避難訓練(昼間火災想定：自主訓練)
3月28日	避難訓練(昼間地震火災想定：消防立ち合い)

(2) 機能訓練とレクリエーション

今年度も、月間予定表を作成し、午前中のレクリエーションは、レク内容の偏りがないように参加ご利用の方が楽しめる提供を行った。壁画週間も継続して季節に沿った壁画をご利用者の意見をくみ取り実施した。運動を目的とした歩行訓練には、多くのご利用者が自主的に参加し、継続して行うことができた。百歳体操やゴムを使った体操にも多くの方が積極的に参加し機能向上を図る支援に努めている。

(3) 余暇・創作活動

ご利用者が自己選択し、それぞれのスタイルで、趣味的な活動を継続して行えた。縫い物(雑巾作り)、壁画作り、編み物、カレンダー作成など幅広く活動を行っている。また、脳トレーニングやリズムを取り入れた手遊びなど毎回提供を行い、脳の活性化に努めている。

3 年齢別登録者数集計表

令和7年3月31日現在

	男 性	女 性	合 計
6 4 歳 以 下	—	—	—
6 5 歳 ～ 6 9 歳	—	—	—
7 0 歳 ～ 7 4 歳	—	1	1
7 5 歳 ～ 7 9 歳	—	2	2
8 0 歳 ～ 8 4 歳	4	7	1 1
8 5 歳 ～ 8 9 歳	2	9	1 1
9 0 歳 ～ 9 4 歳	5	1 7	2 2
9 5 歳 ～ 9 9 歳	2	2 0	2 2
1 0 0 歳 以 上	—	4	4
合 計	1 3	6 0	7 3

※ 最高齢は101歳の女性2名

	男 性	女 性	合 計
平均年齢 (令和7年3月31日現在)	8 8.9 歳	9 2 歳	9 1.4 歳
最 高 齢 (令和7年3月31日現在)	9 7 歳	1 0 1 歳	

4 要介護別利用実績集計表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開 所 日 数	26	27	25	27	27	25	27	26	26	24	24	26	310
1 日平均利用者数	24.6	25.1	24.1	23.6	23.3	25.9	26.2	23.9	23.4	20.7	22.5	24.5	24.0
事 業 対 象	41	40	44	49	42	44	41	43	36	39	34	45	498
要 支 援 1	19	32	28	27	29	29	34	32	34	26	21	22	333
要 支 援 2	66	77	78	62	55	66	77	75	62	51	45	56	770
要 介 護 1	175	177	149	178	217	222	246	222	206	203	238	276	2509
要 介 護 2	206	216	169	186	186	197	207	176	193	125	149	196	2206
要 介 護 3	86	85	90	72	62	52	65	60	67	42	42	33	756
要 介 護 4	17	12	10	13	0	0	0	0	0	0	0	0	52
要 介 護 5	32	40	34	51	37	38	38	15	11	11	12	9	328
延べ利用者数	642	679	602	638	628	648	708	623	609	497	541	637	7,452

(令和5年度 延べ利用者数 8,266名)

《居宅介護支援事業所 りょくりん》

今年度は、施設入所や長期入院・死去などにより支援終了になるご利用者が一定数いたものの、毎月新規の相談もあり、担当件数は徐々に増加し全体で見ると前年を上回る収入となった。新規相談の増加とともに、3月末で町内の居宅支援事業所1か所が休業となったことにより、4月からは2人のケアマネそれぞれが受け持ち可能件数の上限に達する見込みである。四万十町全体では退職や異動のため、来年度は現任のケアマネが今年度より5名少なくなる。各居宅介護支援事業所のケアマネ全体の担当件数が増えている状況であるが、受け持ちが多くなった場合でも一人ひとりのご利用者やご家族に寄り添った支援を継続していく。

また、各関係機関とは密接に情報共有しつつ、地道に地域へ出向き、安否確認などを含め生活状況の把握や、地域住民の方とのつながりを強めてきた。認知症の独居高齢者、老々介護、がん末期の緩和ケアや終末期ケアなど、様々な事例に対して、ご本人やご家族の望む暮らしを汲み取った計画が作成できるよう努めた。

1 事業内容

- (1) ケアプランの作成
- (2) 要介護認定の申請、及び更新申請の代行
- (3) 予防給付のケアプラン作成（四万十町からの委託）

2 要介護度別担当利用者数（国保連請求件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	14
要支援1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	23
要支援2	13	14	13	11	11	12	12	13	13	13	13	13	151
要介護1	24	25	21	22	26	24	28	28	28	25	28	30	309
要介護2	20	20	20	22	22	23	24	22	22	26	27	28	276
要介護3	11	10	9	9	8	9	9	8	6	6	6	5	96
要介護4	5	5	6	9	6	5	6	5	5	5	4	3	64
要介護5	2	2	3	2	1	2	3	3	1	2	2	2	25
合計件数	77	79	75	78	77	78	85	82	78	81	84	84	958
新規利用	2	3	3	5	2	5	8	7	2	2	2	4	45

* 新規利用者は、要介護から要支援、要支援から要介護への変更を含む、初回加算の算定人数

《デイサービスセンターさくら貝》（通所介護及び介護予防通所介護施設）

昨年に引き続き、新規契約に繋がりにくい傾向が続いており、利用定員を10名に変更して営業を行ってきたが、利用者増加に至らず、非常に厳しい現状が続いている。そのため「さくら貝」を身近に感じていただけるよう、情報発信として演奏会の開催や地元スーパーと郵便局へのポスター掲示、民生児童委員の方とチラシの配布等実施したが、成果に繋がっていないのが現状である。

日中の活動としては、ご利用者の方の楽しみであるクッキングについても、季節感を感じられるメニューやおやつ作りを行った。隣接する保育所とも連携し、定期的に行事や避難訓練を通じて交流を図り、地域とのつながりを深めることができた。

新たな取り組みとして、移動図書館の利用や読み聞かせを導入し「読みたい本が読める機会ができた」「楽しみが増えた」といった評価もいただいている。今後も継続して支援できるよう努めていく。

通所介護計画については、ご利用者の状態を把握し定期的な見直しを行い、一人ひとりにあったケアプランを作成の上、サービスの提供に努めた。

1 事業内容

- (1) 介護保険にかかる通所介護事業密着
- (2) 介護予防・日常生活支援総合事業

2 活動内容

(1) 主な行事

	行 事 名
4月	お花見弁当 クッキング
5月	保育園こいのぼり運動会見学
6月	保育園合同避難訓練 クッキング
7月	クッキング
8月	保育園合同夏祭り 読み
9月	クッキング 敬老お楽しみ会
10月	クッキング 保育園秋の運動会
11月	保育園合同避難訓練 クッキング
12月	クッキング 忘年会2回 もちつき 保育園クリスマス交流
1月	新年会
2月	豆まき クッキング
3月	クッキング 自主避難訓練

(その他)

- * 誕生日に写真つきカードをプレゼント
- * 敬老の日に、記念品をプレゼント

(2) レクリエーション

ご利用者の心身の状態などにあわせ、レクリエーションを実施した。主に午前はスポーツレクを中心に、午後には脳トレプリントや塗り絵、壁画制作、手先を使う作業など、個人個人に合わせて提供した。夕方には頭の体操を実施した。また、下肢筋力低下を予防するため、下肢筋力運動や百歳体操、ラジオ体操、ストレッチ体操など実施した。

(3) 保育所との交流

保育園合同職員会（4月26日）
行事見学（5月25日 10月19日 2月3日）
交流会（7月12日 8月20日 10月30日 12月11日）
合同避難訓練（5月24日 11月26日）
餅つき（12月26日）
保育園卒園プレゼント贈呈（3月19日）

(4) 地域との連携

興津地区自主防災組織総会（7月18日）
興津防災訓練（8月25日）
ギター演奏会（3月28日）

(5) 運営推進会議の開催

	開催日	参加委員他
第1回	9月12日（木）	外部4名、職員4名
第2回	3月14日（金）	外部4名、職員4名

3 年齢別登録者数集計表

令和7年3月31日現在

	男性	女性	合計
64歳以下	—	—	—
65歳～69歳	—	—	—
70歳～74歳	—	—	—
75歳～79歳	—	2	2
80歳～84歳	—	3	3
85歳～89歳	1	2	3
90歳～94歳	—	3	3
95歳～99歳	—	1	1
100歳以上	—	—	—
合計	1	11	12

※ 最高齢は95歳の女性（要支援2）

	男 性	女 性	合 計
平均年齢（令和7年3月31日現在）	87.9歳	87歳	87歳

4 要介護別利用実績集計表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	26	27	25	27	27	25	27	26	26	24	24	25	309
1日平均利用者数	7.6	6.4	6.9	7.1	5.4	7.1	7.1	6.2	6.0	4.7	4.2	3.3	6.1
事業対象者	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
要支援1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
要支援2	45	37	42	43	36	42	51	50	51	37	30	18	482
要介護度1	7	7	7	8	7	19	38	20	25	8	8	9	163
要介護度2	70	66	43	46	32	34	29	29	29	29	26	15	448
要介護度3	71	65	73	82	67	72	71	44	42	39	38	42	706
要介護度4	-	-	8	13	6	12	12	20	11	-	-	-	82
要介護度5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
延べ利用者数	200	175	173	192	148	179	201	163	158	113	102	84	1,888

（令和5年度 延べ利用者数 2,477名）

合同事業所研修【デイサービスセンター緑林荘・さくら貝 居宅介護支援事業所りょくりん】

研修内容	開催日	内 容
事業計画について	4月10日	本年度事業計画の確認を行い、周知する。
認知症ケア研修	5月9日	疾患別の認知症ケアに関する知識を習得し、早期発見・進行予防に取り組み、専門性の高いケアの提供を目指す。
ヒヤリ・ハット事故事例検討	6月21日	ヒヤリ・ハット報告の検証と事例検討を行い、事故発生時の対応について周知する。
感染症研修	7月17日	ノロウイルスやインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症対策や食中毒への対応、まん延防止策、について理解を深める。
介護保険制度研修	8月12日	介護保険制度について理解する
福祉避難所開設訓練	9月18日	福祉避難所開設訓練・備蓄品リスト確認（役場立ち合い）
人権権利擁護虐待防止研修	10月21日	倫理及び法令遵守・高齢者虐待・プライバシー保護個人情報保護について理解をする
食事支援研修	11月25日	高齢者の食事の理解と個々の食事携帯の対応について周知する。
災害時(BCP)研修	12月3日	風水害・土砂災害時対応訓練（机上訓練） BCP 訓練研修
介護技術研修 (排泄・入浴)	1月24日	腰痛予防に努め、介護技術の基本動作について、実践研修を行う。高齢者の排泄・入浴方法の検討をおこない、ご利用者と職員が共に安心できる支援を学ぶ。
ヒヤリ・ハット事故事例検討	2月12日	ヒヤリ・ハット報告の検証と事例検討を行い、事故発生時の対応について周知する。
マニュアル研修 (業務継続計画)	3月23日	業務改善・マニュアルの見直しを行い、最新の制度やご利用者の状況などに応じた内容に変更する。 BCP（感染症・自然災害）周知を行う。

[公益事業]

《 配 食 サ ー ビ ス 事 業 》

四万十町や各関係機関と連携・調整を図りながら町内の高齢者や障害者の方等に対し、昼夕2食の配食を行ってきた。配食サービス事業の目的にもある「ご利用者の安否確認」については、新規契約時に事前に話し合い、個別に不在時の連絡体制を定め、配達時の安否確認を徹底して行ってきた。

4月からの新規契約者は49名であったが、在宅生活から施設利用への変更や入院などによる入れ替わりが多くなり、1日の年間平均食数は111.4食と9月以降は減少傾向にある。業務委託費や人件費等の固定費の支出割合が高く、今年度の収支はマイナスとなった。経営的には最低1日115食分が採算ラインであり、来年度以降については、在宅ニーズの変化にともなう配食サービスの方向性等について四万十町とも検討していく必要がでてきた。

7月には配達車両1台が老朽化のため買い替えとなり、来年度も1台買い替える必要があり、コスト面から保冷車両の見直しを行った。また、配達員が常時5名確保できたが、人件費面から職員が1名は加わりローテーションを行ってきた。配達時には、声掛けと安否確認を行うとともに、5月頃から回収弁当の害虫（蟻など）が配達弁当に入らないよう除去し、駆除剤の配布を行うなど対策を実施しながら配達を行った。

月別配食集計表

	実 績 数				実利用者数		
	委託	自費	小計	1日平均	委託	自費	小計
4月	3,287	139	3,426	114.2	103	7	110
5月	3,416	113	3,529	113.8	96	8	104
6月	3,472	128	3,600	120.0	102	7	109
7月	3,592	126	3,718	119.9	104	6	110
8月	3,491	116	3,607	116.4	100	6	106
9月	3,450	119	3,569	119.0	100	6	106
10月	3,512	139	3,651	117.8	96	7	103
11月	3,280	117	3,397	113.2	93	6	99
12月	3,112	139	3,251	104.9	86	8	94
1月	2,938	146	3,084	99.5	86	7	93
2月	2,628	131	2,759	98.5	85	6	91
3月	2,906	163	3,069	99.0	85	10	95
合 計	39,084	1,576	40,660	—	1,136	84	1,220
平 均	3,257	131	3,388	111.4	94.7	7	102
前年度平均	3,388	126	3,514	115.5	106	7	113

《 地域における公益的な取組 》

3月の明成会地域サポート隊推進会議で検討した今年度の事業計画に基づき、次の地域における公益的な取組みを実施してきた。

1 地域に向けた活動

○明成会地域サポート隊による活動の実施

・清掃活動

実施日	参加人数	内 容
7月21日	9名	六反地駅・施設周辺の草刈り
10月20日	7名	六反地駅・施設周辺の草刈り

・月1回各宅老所へ出前講座

影野宅老所（平均参加者 約12名）・・・10回

六反地宅老所（平均参加者 約10名）・・・8回

2 福祉避難所の活用

○四万十町認知症カフェ運営事業受託

認知症の人とその家族が安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とした四万十町認知症カフェ事業『名称:しまんとオレンジカフェほほえむ』の委託を受け、毎月第3金曜日に定期的に開催した。昨年の6月の開設後から口コミ等により徐々に地域の方々と馴染みの関係を築きつつあり参加者が増え始めてきた。また、当日は職員によるレクリエーションや健康に関する講座等を実施してきた。

実施日	参加者数	テーマ等
4月19日	8名	手作りおやつ
5月17日	14名	頭の体操、『田植え唄』
6月21日	14名	頭の体操と健康
7月19日	5名	熱中症対策と水分の大切さ
8月16日	1名	ピアノ演奏
9月20日	8名	認知症予防と雑学
10月18日	6名	百歳体操とゴム体操
11月15日	7名	懐メロと#7119
12月20日	13名	認知症予防啓発活動
1月17日	16名	レクリエーション
2月21日	14名	カラオケ
3月21日	12名	参加者による『田植え唄』の披露
合 計	118名	

○地域と連携した災害対策

1月26日 仁井田地区自主防災組織と合同訓練（影野小学校）

3月17日 福祉避難所開設訓練（災害避難スペース オイコニア）

3 地域の他機関とのネットワーク活動

- ・高知リハビリテーション専門職大学の実習の受入れと交流を通して、関係機関とのネットワークづくりを積極的に実施

[10月12日芋ほり体験（ご利用者7名）には、仁井田りん家主催のもと高知リハ学生等17名も参加]

4 既存事業の利用料の減額・免除

- ・介護保険事業（デイサービスセンター緑林荘及びデイサービスセンターさくら貝）における社会福祉法人による利用者負担軽減を実施